

## ご来賓ご挨拶



さいたま市 市長  
清水 勇人 様



パストガバナーご挨拶  
パストガバナー  
森田 武司 様

第4Gの内山 泰成 ガバナー補佐をはじめ、各ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃から地域において熱心な奉仕活動を続けていただいていることに、厚く御礼申し上げます。

■ 本年は、さいたま市が政令指定都市に移行して20周年の節目にあたります。本市の人口増加数は2年連続で全国第1位、0歳から14歳までの転入超過数に至っては7年連続で全国第一位であり、本市が子育て世帯から選ばれる都市として発展を続けていることが見てとれます。今日まで本市の発展を支えていただいた、市民の皆様、ご関係各位に心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、市議会の4月臨時会におきまして本庁舎移転に係る議案が可決され、本市誕生以来の重要課題に大きな一歩が刻まれました。同じ4月に、国からは、他地域とともに全国初の脱炭素先行地域に選定され、11月には「さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNA グローバルサミット～」を開催しました。海外先進都市とも絆を深めながら、脱炭素ドミノを広げていく先陣としての役割が本市には期待されています。

新型コロナウイルス感染症へは、ワクチン接種体制の確保や、市内の経済活動の回復に向けた支援に全力を尽くしてまいりました。秋には、3年ぶりに区民まつりやさいたまクリテリウムが開催されるなど、細心の注意を払いながらも、対面での交流が少しずつ再開される一年となりました。

1月21日・22日に開催の「さいたまランフェス 2022-23」では、3年ぶりにマラソンランナーが市内を力強く駆け抜け、10月には「さいたま国際芸術祭 2023 Art-Saitama 2023」を、市民の皆様と共に創りあげてまいります。

増加基調が続く本市の人口も、あと10年足らずでピークを迎え、大きな転換点の到来が予想されています。世界に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻は、国際秩序を大きく揺るがし、社会経済状況の先行きは不透明感を増すばかりです。

こうした中、政令指定都市として大きな節目の年を迎えた本市は、「交通の要衝」「災害への強靭性」「教育」「環境」「健康・スポーツ」といった強みにさらに磨きをかけ、新たな時代にふさわしいSDGs未来都市として、成長発展・シンカを遂げていかなければなりません。そのためには、時代の最先端の知見やテクノロジーを積極的に「まちづくりや行政サービスに生かしていく」ことはもとより、市民の皆様や市内外の企業、大学をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様方と力を合わせ、共に考え共に創る、公民学共創によるまちづくりが不可欠です。

誰もが「住みやすい」「住み続けたい」と思える持続可能なまちづくりに向けて、どうか今年も、皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。結びに、新年が皆様にとって幸多い一年となることを心から祈念し、私のあいさつとします。本年もよろしくお願いたします。



乾杯  
パストガバナー補佐  
山形 照之 様



## グループ合同事業報告・IM 実行委員紹介



IM 実行委員の方々



ご紹介  
グループ幹事  
十文字 裕司 様



## グループ合同奉仕事業 映像放映



## 直前ガバナー補佐・グループ幹事への 花束贈呈



ご挨拶  
直前ガバナー補佐 三枝 和男 様